

令和 2 年 1 月 1 6 日
健康づくり推進協議会資料
福祉部 介護保険課
健康部 医療保健課

口腔ケア健診（江戸川歯^{はつらつ}チェック）

1. 健診の概要

事業開始年度：平成 30 年度

対 象：65 歳以上の区民

目 的：口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病予防を通し、高齢者の健康の維持・増進等を図り、心身ともに自立した生活を送ることを目的とする。

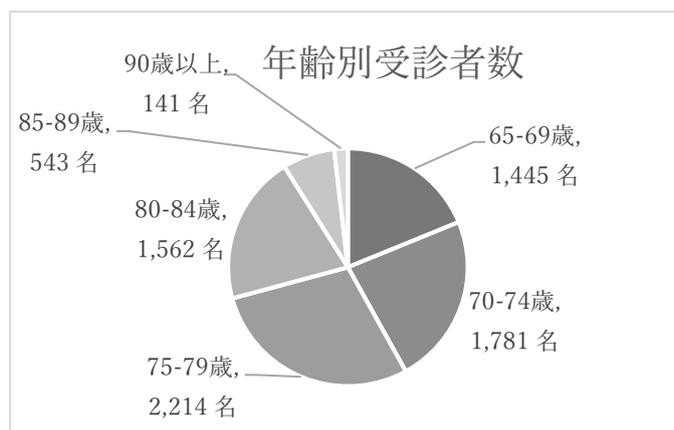
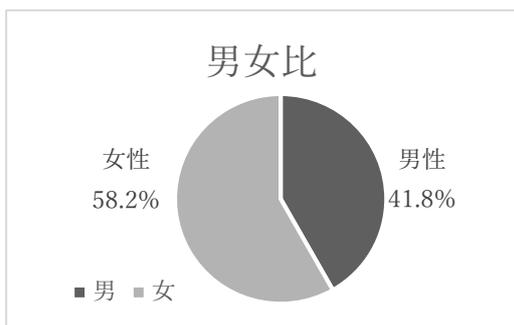
受 診 方 法：江戸川区歯科医師会指定医療機関へ直接予約

健 診 内 容：食べること、飲み込むこと等口腔機能のチェック

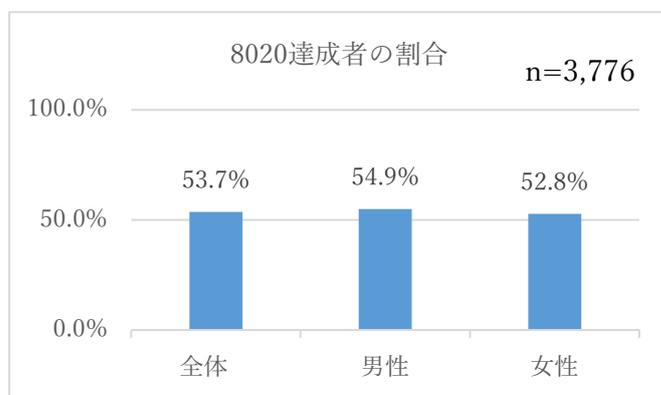
2. 平成 30 年度 口腔ケア健診（江戸川歯^{はつらつ}チェック）結果より

① 受診者 7,686 名（男性 3,211 名 女性 4,475 名）

受診者の内訳では女性の割合が高く、75～79 歳が多い。



② ^{ハチマルニイマル}8020達成者の割合



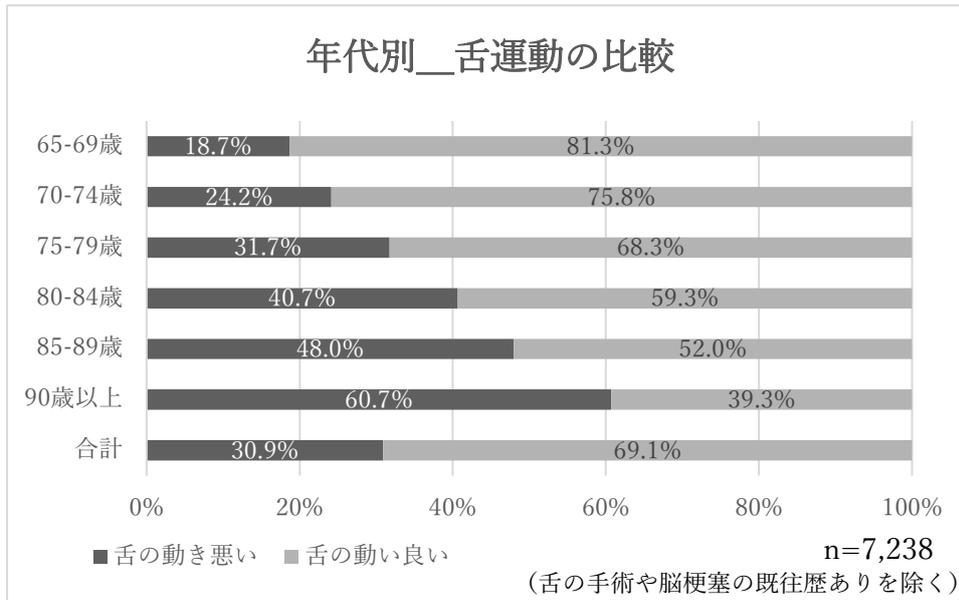
^{ハチマルニイマル}8020とは

「80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保とう」という目標。

平成元年から厚生労働省と日本歯科医師会が推奨している。

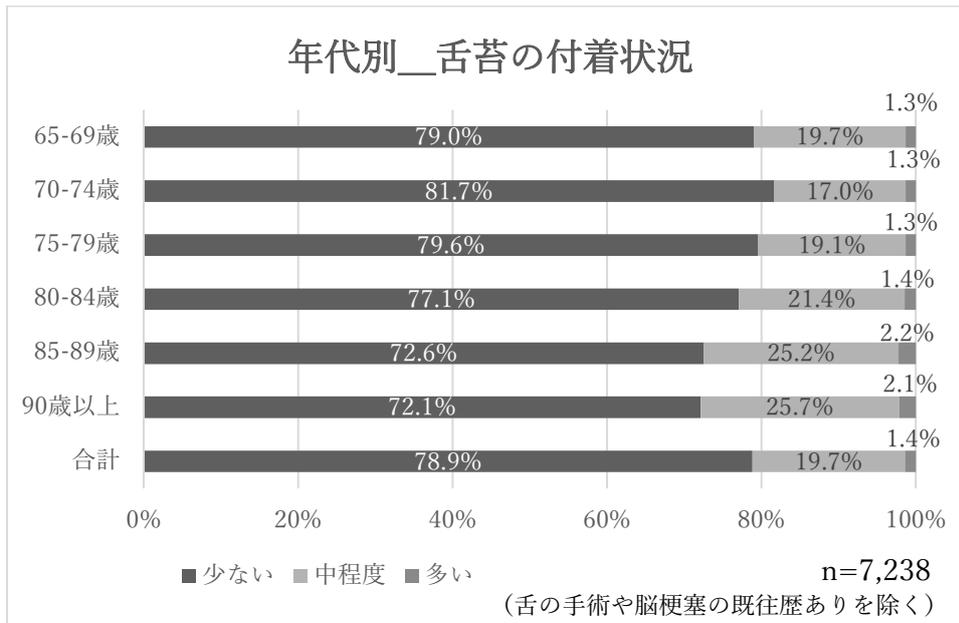
健康日本 21 の目標値は 50%。

③ 舌運動



舌の動きをみる検査の結果、年齢が上がるほど、舌の動きが悪い方の割合が増える

④ 舌苔の付着状況



舌苔とは、舌の上につく汚れをいう。多い場合、舌の動きが乏しい可能性がある。
年齢が上がると舌苔のある方の割合が増える。

3. 結果より

平成 30 年度の口腔ケア健診の結果、江戸川区では、健康日本 21 の目標指標である 8020 の達成者の割合が 53.7%だった。これは目標値の 50%を達成していた。

舌運動と舌苔の付着結果より、年代別にみると、年齢が高くなると舌の動きの悪い方が増加し、そのためか舌苔の付着も多くなる傾向があった。

舌運動が悪くなる前に、機能を維持するための対応が必要であると思われる。

今回は健診結果の一部を紹介させていただいた。今後も、健診結果からの情報を発信していきたい。

作成：健康部 地域保健課
健康サービス課